ＨＳＢＣ ワールド・セレクション
（インカムコース）
愛称：ゆめラップ

追加型投信／内外／資産複合

交付運用報告書

第48期（決算日2026年4月20日）
第49期（決算日2026年6月19日）
第50期（決算日2026年8月19日）

作成対象期間
（2026年2月20日～2026年8月19日）

第50期末（2026年８月19日）	
基準価額	12,387円
純資産総額	5,380百万円
第48期～第50期	
騰落率	4.6%
分配金（税込み）合計	204円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

▶当ファンドは、信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、弊社のHP（ホームページ）で下記の手順でご覧いただけます。
＜閲覧方法＞
右記URLにアクセス⇒HP上部の「基準価額」を選択⇒当ファンドのファンド名称を選択⇒「運用報告書」を選択⇒「交付運用報告書・運用報告書（全体版）」の一覧の最新の運用報告書（全体版）を選択すると、当該運用報告書（全体版）を閲覧・ダウンロードすることができます。
※将来、HPの見直し等により、閲覧方法が変更になる場合があります。
▶運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ＨＳＢＣ ワールド・セレクション（インカムコース）」（以下、「インカムコース」）は2026年8月19日に第50期の決算を行いました。

当ファンドは、中長期的な市場見通しに基づき世界の様々な資産（株式、債券等）に分散投資し、定期的にかつ必要に応じて資産配分の見直しを行うことでファンドのリスクをコントロールし、インカムゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指す投資方針に沿い、運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

ＨＳＢＣアセットマネジメント株式会社

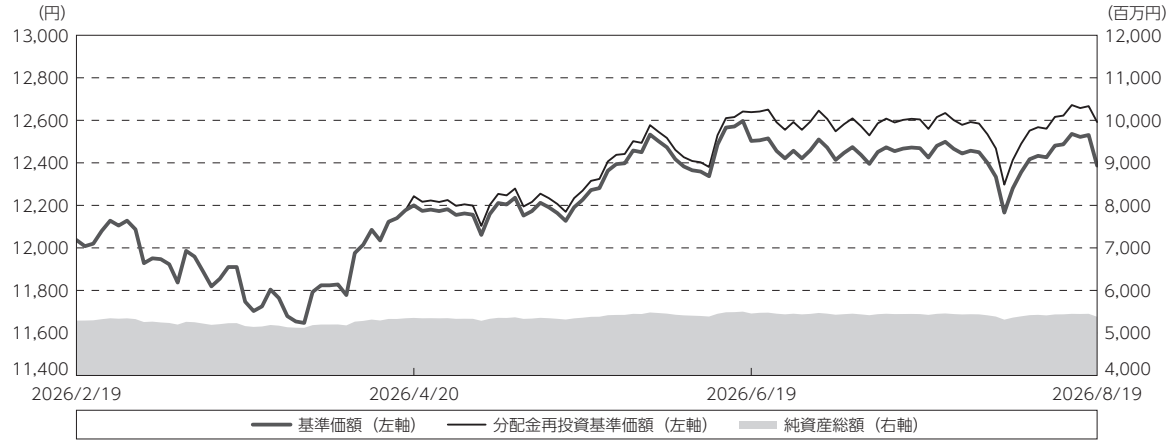
東京都中央区日本橋3-11-1　ＨＳＢＣビルディング
≪お問い合わせ先（投信営業本部）≫
電話番号：03-3548-5690
（営業日の午前9時～午後5時）
ホームページ：www.assetmanagement.hsbc.co.jp

HSBC Asset Management

◆運用経過◆

基準価額等の推移について

(第48期～第50期：2026年2月20日～2026年8月19日)



第48期首：12,037円
第50期末：12,387円（既払分配金(税込み)：204円）
騰 落 率：　4.6%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2026年2月19日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

基準価額の主な変動要因

＜上昇要因＞

主に世界配当株式や新興国株式が上昇したことがプラスに寄与しました。

1万口当たりの費用明細

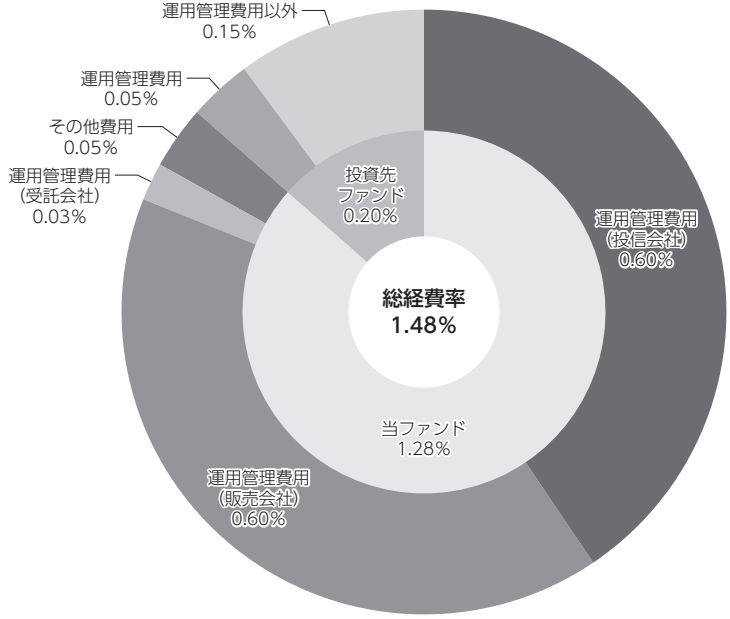
項目	第48期～第50期 金額	第48期～第50期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	75	0.616	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(37)	(0.300)	委託した資金の運用の対価（運用委託先への報酬が含まれます。）
（販売会社）	(37)	(0.300)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.001	(b) 売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(0)	(0.001)	
(c) その他費用	3	0.024	(c) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.006)	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
（監査費用）	(1)	(0.005)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	(1)	(0.013)	振替制度にかかる費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出にかかる費用等
合計	78	0.641	
作成期中の平均基準価額は、12,184円です。			

（注）作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
（注）当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。
（注）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

◯総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.48%です。

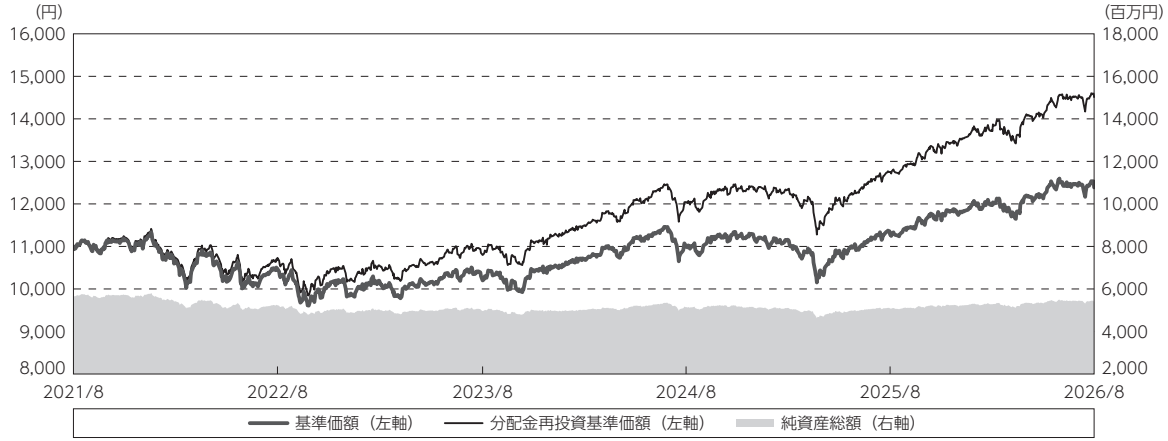


(単位:%)

総経費率(①+②+③)	**1.48**
①当ファンドの費用の比率	1.28
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.05
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.15

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注) 各比率は、年率換算した値です。
(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
(注) ファンド名に「ＨＳＢＣ」を含まない投資先ファンドの費用については、②に計上しています。ファンド名に「ＨＳＢＣ」を含む投資先ファンドの費用は②、③に区分して計上していますが、②、③の区分なく費用が公表されている場合は②に計上しています。
(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について （2021年8月19日～2026年8月19日）



（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）分配金再投資基準価額は、2021年8月19日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2021年８月19日 決算日	2022年８月19日 決算日	2023年８月21日 決算日	2024年８月19日 決算日	2025年８月19日 決算日	2026年８月19日 決算日
基準価額　（円）	11,005	10,472	10,200	11,000	11,277	12,387
期間分配金合計（税込み）　（円）	－	262	330	362	356	430
分配金再投資基準価額騰落率　（％）	－	△ 2.5	0.6	11.5	5.9	13.8
純資産総額　（百万円）	5,680	5,234	4,960	5,136	5,070	5,380

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
（注）騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
（注）当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

投資環境について

【先進国株式】

先進国株式は、作成期初から2026年3月下旬にかけて中東情勢の緊迫化により下落傾向となったのち、作成期末にかけては世界的に概ね堅調な企業業績を受け、上昇基調に転じました。

【新興国株式】

新興国株式は、作成期初から2026年3月末にかけて中東情勢の緊迫化によるリスク回避の動きにより下落傾向となりましたが、AI関連の需要拡大に伴い韓国・台湾市場が相場のけん引役となり、6月下旬にかけて上昇基調に転じました。その後、韓国・台湾市場における過熱感が警戒されたことを受け、作成期末にかけて軟調となりました。

【先進国債券】

先進国債券は、作成期初から2026年3月下旬にかけて中東情勢の緊迫化を背景とした原油高に伴うインフレ圧力から下落傾向となったのち、作成期末にかけては方向感を欠く展開となりました。

【世界社債】

世界社債は、作成期初から2026年3月下旬にかけて中東情勢の緊迫化によるリスク回避の動きにより下落傾向となったものの、作成期末にかけては一定範囲内で推移しました。

【新興国債券】

新興国債券は、作成期初から2026年3月下旬にかけて世界的なリスク回避の動きに伴い下落傾向となりました。作成期末にかけては新興国の堅調な経済やインフレの落ち着きを背景に上昇基調となりました。

【その他資産（不動産等）】

世界の主要国の不動産関連株式は、作成期初から2026年3月下旬にかけて中東情勢の緊迫化を反映し下落傾向となったのち、作成期末にかけては魅力的な利回り水準を受け、上昇基調に転じました。

【為替相場】

円相場は、実効為替レート（貿易加重平均）および対米ドルにおいて作成期初から2026年7月下旬にかけて日本の積極財政に伴う財政悪化懸念に伴い途中一進一退を経て下落基調となりました。その後、日米協調介入などを背景に8月初旬にかけて円は大幅上昇したものの、作成期末にかけては介入効果が一巡したことにより軟調となりました。対ユーロでは作成期初から2026年4月中旬にかけてユーロ圏経済の底堅さや欧州中央銀行(ECB)の利下げ観測後退から途中上下に振れながらも下落傾向となりました。7月下旬にかけては一定範囲内で推移したのち、日米協調介入で米国側が実施したユーロ売り・円買い介入を受け、8月初旬にかけて円は上昇したものの、ECBの利上げ観測に伴い作成期末にかけて弱含みました。

ポートフォリオについて

投資信託証券への投資を通じて、利息・配当収入を重視しつつも、中長期的な信託財産の成長を目指した運用を行いました。

資産別では、株式においては、地政学リスクが高まった局面で世界配当株式の比率を引き下げたものの、その後、堅調な企業収益、継続する人工知能（AI）投資などが下支えするとの見方から引き上げました。また、米ドル高が逆風になっている新興国の比率を引き下げました。株式全体では、作成期末の比率は作成期首と同程度の42%程度となりました。

債券では、利回りの魅力が高まった世界国債の比率を引き上げました。新興国債券においては、国債との利回り差が小さく、現地通貨建てに比べて魅力の劣る米ドル建ての比率を引き下げました。現地通貨建てについても、引き続き選好するも一部売却して株式へ資金を移動しました。また、インフラファンドを全て売却し、利回り水準が同程度の高利回り債券の比率を引き上げました。資産クラスとしてのインフラへの投資は、引き続きインフラ株式を通じて行います。債券全体の比率は、作成期首の51%程度から作成期末には52%程度となりました。

信託財産の構成（2026年８月19日現在）	
世界配当株式	34.7%
世界株式	2.0%
新興国株式	5.1%
世界国債	8.7%
世界社債	14.4%
ハイ・イールド債券	12.5%
新興国債券	13.7%
ABS（資産担保証券）	3.0%
不動産・その他	1.9%
キャッシュ等	4.0%

ベンチマークとの差異について

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

分配金について

当作成期につきましては、基準価額の水準・市況動向等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきました。

なお、留保益の運用につきましては特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項　　目	第48期	第49期	第50期
	2026年２月20日～2026年４月20日	2026年４月21日～2026年６月19日	2026年６月20日～2026年８月19日
当期分配金	43	91	70
（対基準価額比率）	0.351%	0.723%	0.562%
当期の収益	43	91	70
当期の収益以外	－	－	－
翌期繰越分配対象額	2,514	2,817	2,817

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◆今後の運用方針◆

米連邦準備制度理事会（FRB）のウォーシュ新議長が物価重視の姿勢を強めていることもあり、市場では2026年内の利上げ観測が意識されています。さらに、中東情勢を含む地政学リスクや、世界的な財政支出拡大に伴う金利上昇懸念を受け、リスク資産は当面、変動性が高まりやすいと見ています。こうした環境下では、リスク資産に対して慎重な姿勢を維持しつつ、選別的なアプローチを継続することが適切であると考えます。今後も市場環境を注視しながら、必要に応じて資産配分の見直しを行っていく方針です。

引き続き、中長期的な市場見通しに基づき世界の様々な資産（株式、債券等）に分散投資し、定期的にかつ必要に応じて資産配分の見直しを行うことでファンドのリスクをコントロールし、インカムゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指します。

◆お知らせ◆

約款変更について

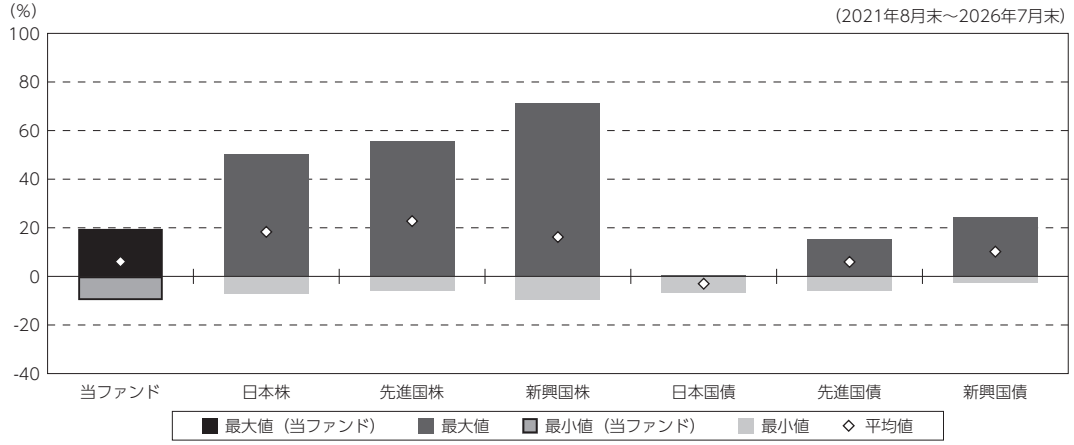
2026年4月1日付
「一般社団法人投資信託協会」と「一般社団法人日本投資顧問業協会」は合併し、名称が「一般社団法人資産運用業協会」に変更されたため、投資信託約款に所要の変更を行いました。

2026年5月19日付
投資対象ファンドの一部変更を行いました。

◆当ファンドの概要◆

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限
運用方針	中長期的な市場見通しに基づき世界の様々な資産（株式、債券等）に分散投資し、定期的にかつ必要に応じて資産配分の見直しを行うことでファンドのリスクをコントロールし、インカムゲインの獲得と信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要投資対象	投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	・投資信託証券への投資を通じて、主として「先進国株式」、「新興国株式」、「先進国債券」、「新興国債券」およびその他資産を投資対象資産とし、分散投資を行います。 ・投資比率は適宜見直します。 運用にあたっては、投資対象資産のリスクや利回りおよび市場環境を分析し、効率的に収益を獲得することを目指して、投資比率を決定します。 ・外貨建資産については、部分的に為替ヘッジを行います。 （当ファンドは世界の様々な資産に分散投資を行っており、一部為替ヘッジを行わない部分があります。）
分配方針	年6回の決算時（毎年2月、4月、6月、8月、10月、12月の各19日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。 ①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

◆（参考情報）代表的な資産クラスとの騰落率の比較◆



（単位：%）

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	19.5	50.5	55.7	71.2	0.6	15.4	24.5
最小値	△ 9.8	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値	6.1	18.3	22.7	16.2	△ 3.0	6.0	10.2

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注）2021年8月から2026年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
（注）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
（注）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》
日 本 株：東証株価指数（TOPIX、配当込み）
先進国株：MSCI － KOKUSAIインデックス（配当込み、円ベース）
新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債：NOMURA － BPI国債
先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

◆当ファンドのデータ◆

（2026年8月19日現在）

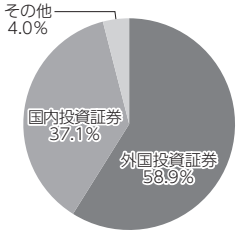
当ファンドの組入資産の内容

○組入上位ファンド

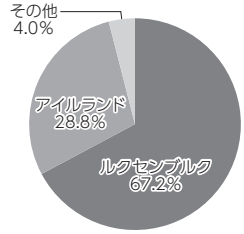
銘　　柄　　名	第50期末
	%
ＨＳＢＣ ＧＩＦ グローバル・エクイティ・クオリティ・インカム	34.7
ＨＳＢＣ グローバル・コーポレート・ボンド ＵＣＩＴＳ ＥＴＦ	14.4
ＨＳＢＣ ＧＩＦ グローバル・ハイ・イールド・ボンド	12.5
その他	34.4
組入銘柄数	12銘柄

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

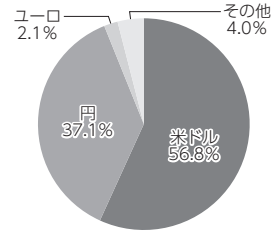
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。国別配分は、国・地域別による配分です。
（注）国内投資証券には外国籍（邦貨建）の投資証券を含めております。
（注）その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

○純資産等

項　　目	第48期末	第49期末	第50期末
	2026年４月20日	2026年６月19日	2026年８月19日
純資産総額	5,353,503,516円	5,456,908,969円	5,380,029,386円
受益権総口数	4,388,034,147口	4,364,485,972口	4,343,399,631口
１万口当たり基準価額	12,200円	12,503円	12,387円

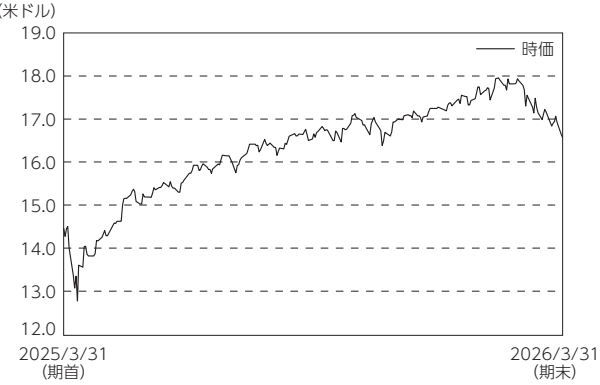
（注）当作成期間（第48期～第50期）中における追加設定元本額は105,491,702円、同解約元本額は156,831,504円です。

組入上位ファンドの概要

◆ＨＳＢＣ ＧＩＦ グローバル・エクイティ・クオリティ・インカム（計算期間　2025年4月1日～2026年3月31日）

※以下のデータは、監査済み資料として作成時現在で入手できる直近の計算期間に関する情報です。

○時価の推移



・上記は単位当たりの純資産額（米ドル）で表示しています。

○1万口当たりの費用明細

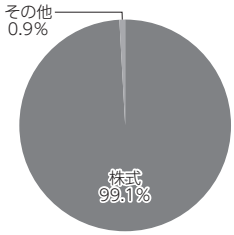
1万口当たりの費用明細については開示されていないため、記載しておりません。

○組入上位10銘柄

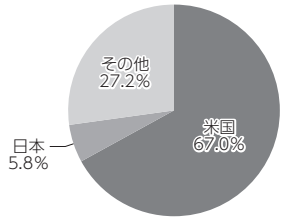
(2026年3月31日現在)

	銘柄名	業種／種別等	国（地域）	比率
				%
1	NVIDIA	株式	米国	6.01
2	MICROSOFT	株式	米国	4.10
3	APPLE	株式	米国	3.65
4	BROADCOM	株式	米国	1.95
5	AMAZON.COM	株式	米国	1.66
6	ALPHABET	株式	米国	1.65
7	ASML HOLDING	株式	オランダ	1.49
8	META PLATFORMS	株式	米国	1.41
9	MERCK & CO	株式	米国	1.32
10	NOVARTIS	株式	スイス	1.25
組入銘柄数		125銘柄		

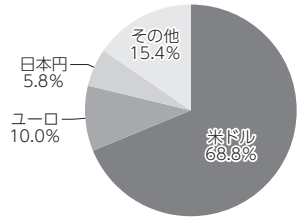
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分

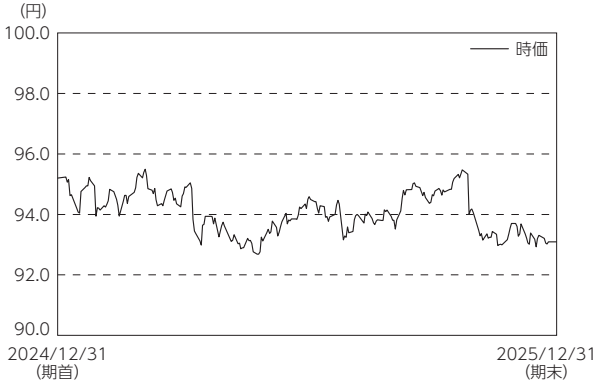


・国別配分は、国・地域別による配分です。
・キャッシュ部分については、「その他」に含めております。

◆ＨＳＢＣ グローバル・コーポレート・ボンド ＵＣＩＴＳ ＥＴＦ（計算期間　2025年1月1日～2025年12月31日）

※以下のデータは、監査済み資料として作成時現在で入手できる直近の計算期間に関する情報です。

○時価の推移



・上記は単位当たりの純資産額（日本円）で表示しています。

○1万口当たりの費用明細

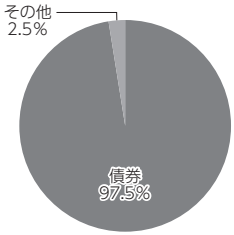
1万口当たりの費用明細については開示されていないため、記載しておりません。

○組入上位10銘柄

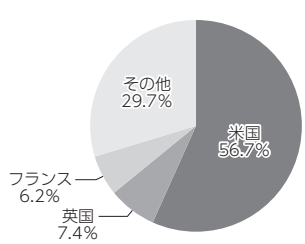
（2025年12月31日現在）

	銘柄名	業種／種別	国（地域）	比率
				%
1	HSBC Global US Dollar Liquidity Fund	投資信託	アイルランド	1.52
2	UBS Group AG 7.75% VRN 01/03/2029	債券	スイス	0.32
3	Roche Holdings Inc 5.593% 13/11/2033	債券	米国	0.27
4	Banco Santander S.A. 5.75% VRN 23/08/2033	債券	スペイン	0.26
5	Pfizer Investment Enterprises Pvt Ltd 4.75% 19/05/2033	債券	シンガポール	0.23
6	AerCap Ireland Capital DAC 6.45% 15/04/2027	債券	アイルランド	0.23
7	Wells Fargo & Co 5.574% VRN 25/07/2029	債券	米国	0.22
8	Bank of America Corporation 5.288% 25/04/2034	債券	米国	0.20
9	Oracle Corporation 6.9% 09/11/2052	債券	米国	0.20
10	Humana Inc 5.375% 15/04/2031	債券	米国	0.20
組入銘柄数		3,937銘柄		

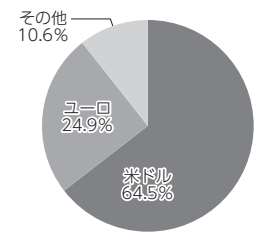
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分

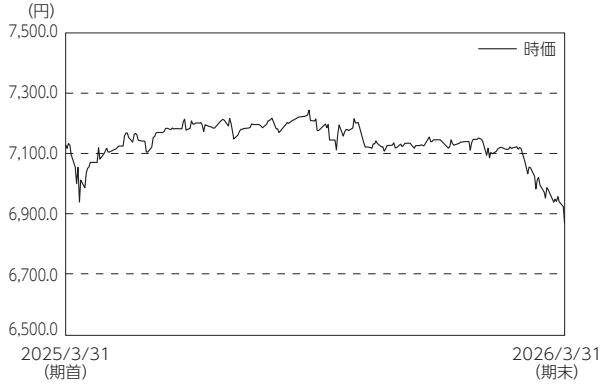


・国別配分は、国・地域別による配分です。ＨＳＢＣアセットマネジメントのウェブサイトに記載されている地域別配分の評価額の比率を記載しております。
・キャッシュ部分については、「その他」に含めております。

◆ＨＳＢＣ ＧＩＦ グローバル・ハイ・イールド・ボンド （計算期間　2025年4月1日～2026年3月31日）

※以下のデータは、監査済み資料として作成時現在で入手できる直近の計算期間に関する情報です。

○時価の推移



・上記は単位当たりの純資産額（日本円）で表示しています。

○1万口当たりの費用明細

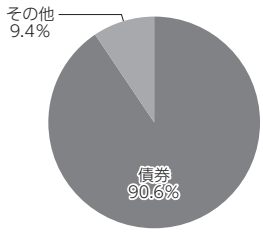
1万口当たりの費用明細については開示されていないため、記載しておりません。

○組入上位10銘柄

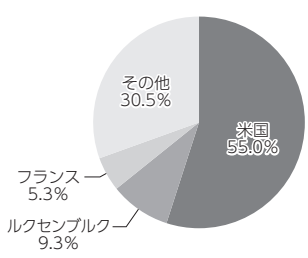
(2026年3月31日現在)

	銘柄名	業種／種別等	国（地域）	比率
				%
1	HGIF GLOBAL HIGH YIELD SECURITISED CREDIT BOND "ZC"	投資信託	ルクセンブルク	1.86
2	HGIF GLOBAL FLEXIBLE SECURITISED CREDIT BOND (FORMERLY GLOBAL SECURITISED CREDIT BOND) "ZQ1"	投資信託	ルクセンブルク	1.74
3	ISHARES $ HIGH YIELD CORPORATE BOND ETF	投資信託	アイルランド	1.70
4	HGIF GLOBAL EMERGING MARKETS LOCAL DEBT "ZD"	投資信託	ルクセンブルク	1.70
5	HSBC GLOBAL LIQUIDITY FUNDS - US DOLLAR LIQUIDITY FUND "Y"	投資信託	アイルランド	0.68
6	CCO HOLDINGS 7.375% 01/03/2031	債券	米国	0.65
7	IRON MOUNTAIN 6.25% 15/01/2033	債券	米国	0.65
8	PANTHER ESCROW ISSUER 7.125% 01/06/2031	債券	米国	0.54
9	VENTURE GLOBAL 9.875% 01/02/2032	債券	米国	0.53
10	CQP HOLDCO 7.5% 15/12/2033	債券	米国	0.52
組入銘柄数		537銘柄		

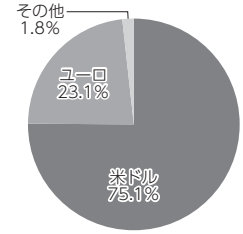
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



・国別配分は、国・地域別による配分です。
・キャッシュ部分については、「その他」に含めております。

◆指数に関して◆

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社ＪＰＸ総研又は株式会社ＪＰＸ総研の関連会社に帰属します。

○MSCI － KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）
MSCI － KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA － BPI国債
NOMURA － BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA － BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）
JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス － エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス － エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。